

いらかこうえん  
**麓公園**

所在地：南あわじ市 松帆西路



「真価の歴史四百年」 南あわじ市 前田尋美氏撮影 (第2回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品)

瓦の町として広く知られる西淡地区では、町内の家屋はもとより様々な施設に、約1200年の歴史を誇るいぶし銀色の「淡路瓦」が使用され、各地で瓦を使ったアート作品が見られます。

西淡三原ICそばに位置する麓公園は、観光客の休息の場であり、そして淡路瓦の魅力を島内外へ発信する場でもあります。公園の象徴でもある瓦のモニュメント・青海波ピラミッドは、約7万枚以上の瓦が積み上げられた大作で、淡路の山なみをイメージして、著名な写真家であり「カワラマン」でもある山田脩二氏の製作によるものです。他にも様々な技法で淡路瓦を使った施設が見られます。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
  - 歴史が作りだす景観
  - ✓ 生活・文化が作りだす景観
  - ✓ 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道西淡三原IC下車すぐ。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図